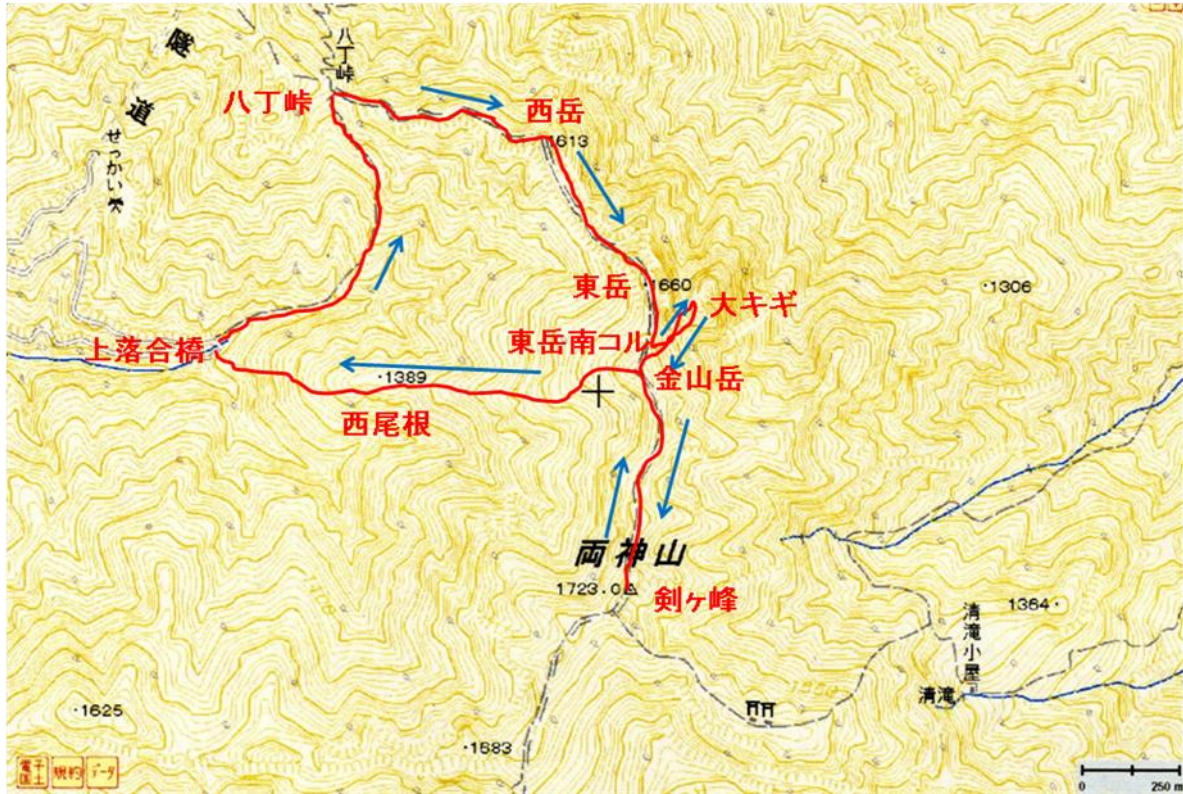


両神山 山行報告

2008 年 12 月 23 日 (火)

メンバー : S61 卒 吉筋正雄先生

M2 只左一也



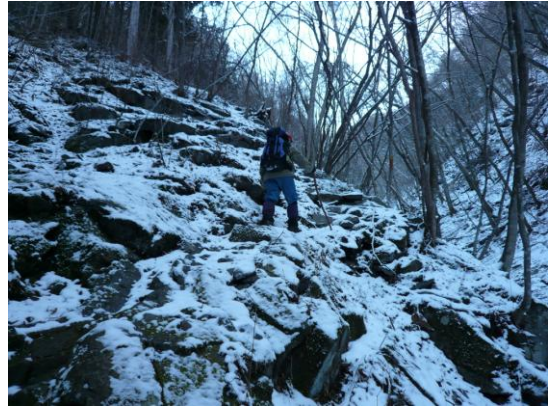
上落合橋	9:00 着	
八丁峠	9:55 着	
西岳	11:35 着	12:00 発
東岳	13:05 着	13:10 発
大キギ	13:35 着	13:50 発
東岳南コル	14:15 着	
剣ヶ峰	14:45 着	15:10 発
金山岳	15:20 着	15:35 発
落合橋	17:15 着	17:25 発

最初は東飯能駅で私が吉筋先生の車に拾っていただく予定だったが、先生はわざわざ遠回りをして私の自宅近くで拾ってくださった。途中で休憩したりチェーンを巻いたりして、8時過ぎに上落合橋に到着。早朝は曇っていたが、車で移動するうちに雲が無くなり、車を降りた時には空は真っ青になっていた。八丁尾根の稜線が近い。

八丁尾根の険しい道に期待を膨らませながら準備をして、9時に出発した。雪は数センチ程度しかないが、落ち葉の上がところどころ吹きだまりになっていてズボズボ潜り、何とも言えない感覚だった。なだらかな道を1時間ほど登り、八丁峠に出た。



上落合橋



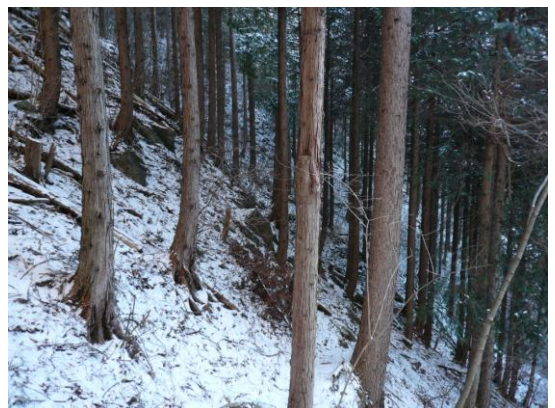
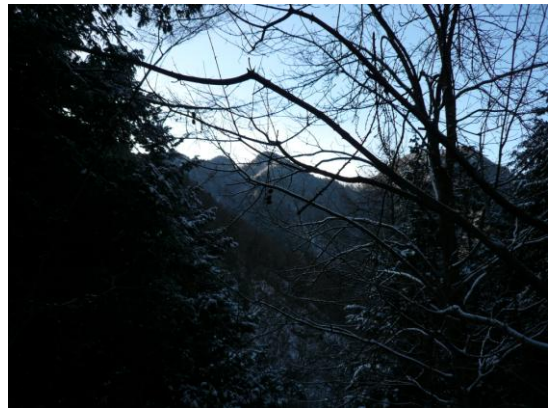
八丁峠まではなだらかな登りが続く



空は真っ青

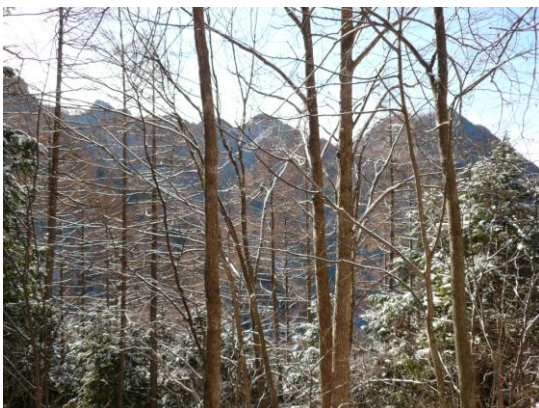


上落合橋の登山口





狩倉岳（横八丁）

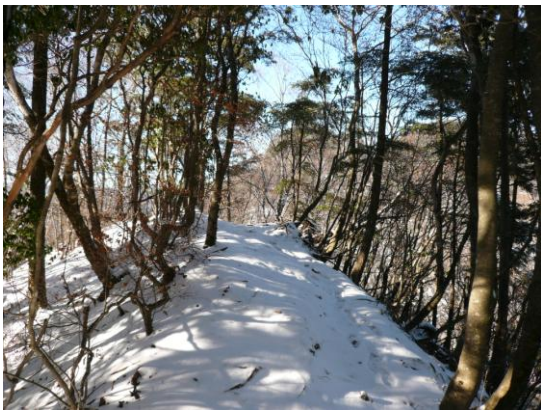


八丁峠に到着

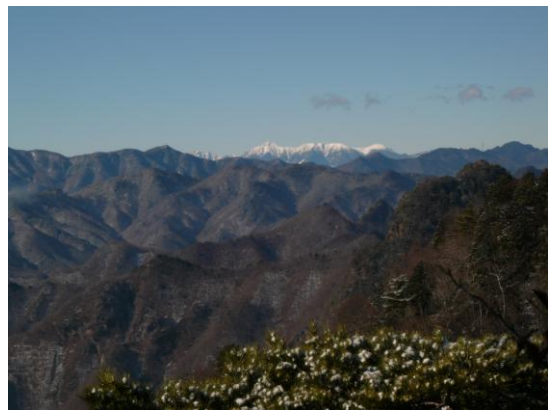


八丁峠から、いよいよ八丁尾根の尾根歩きとなる。途中でアイゼンを装着。程なく、最初の鎖場が現れた。雪が少ないので、問題なく鎖場を通過。やがて見晴らしの良い場所に飛び出した。秩父の山並みの上に八ヶ岳が頭をのぞかせていた。雪は少ないようである。尾根の先に、崖のような東岳の登り道を見て少し緊張する。

この先も鎖場が連続するが、特に問題になるような場所はない。やがて行蔵峠を経て、西岳山頂に到着。休憩していると、後から来た親子と思われる2人が追い越して行った。



最初の鎖場



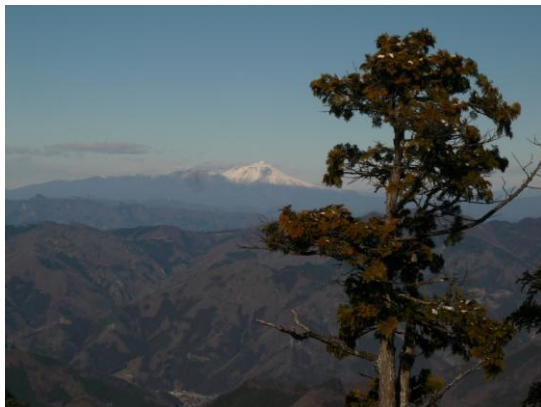
八ヶ岳遠望



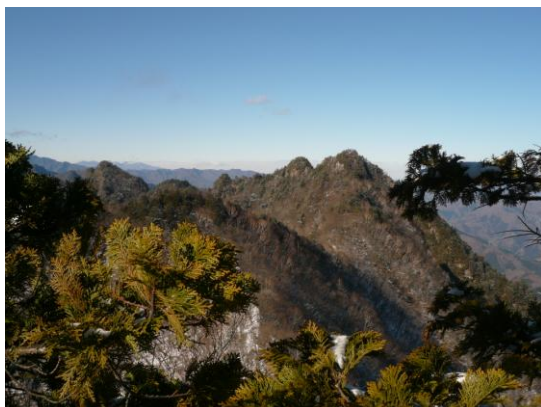
奥秩父の山並。中央やや右に小川山。



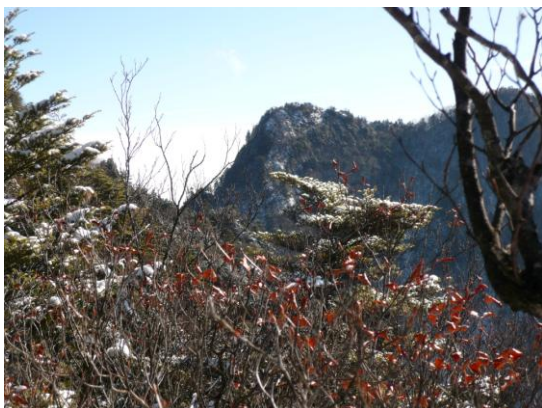
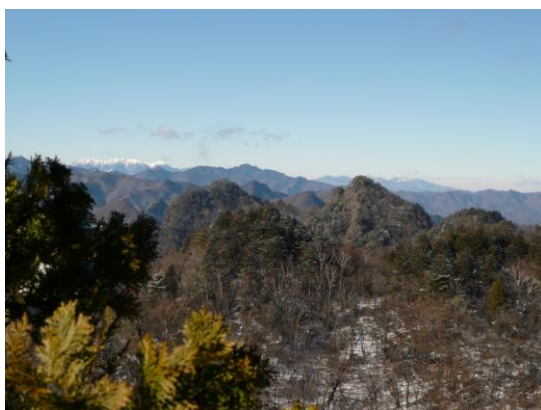
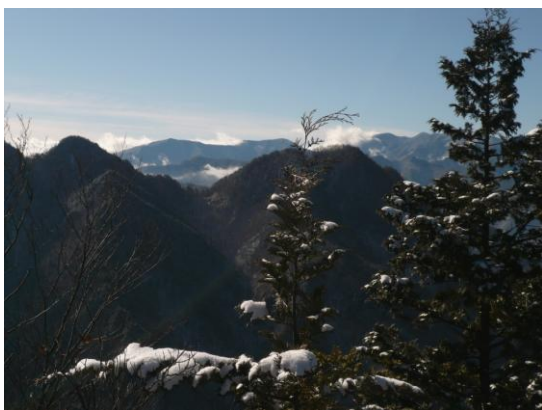
甲武信ヶ岳（中央）



浅間山



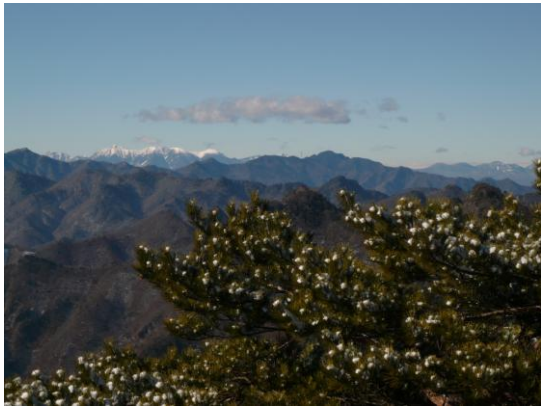
振り返ると、赤岩岳の尾根が険しい



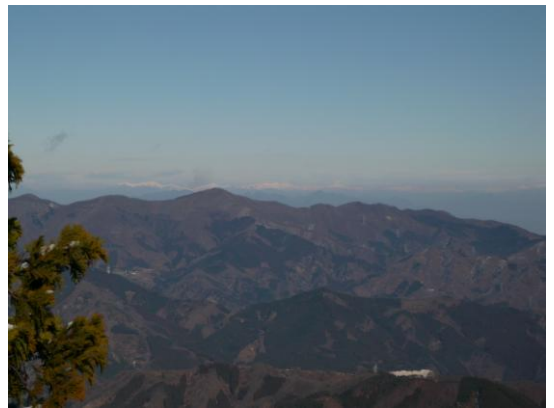
東岳。上りがすごい急斜面になっている。



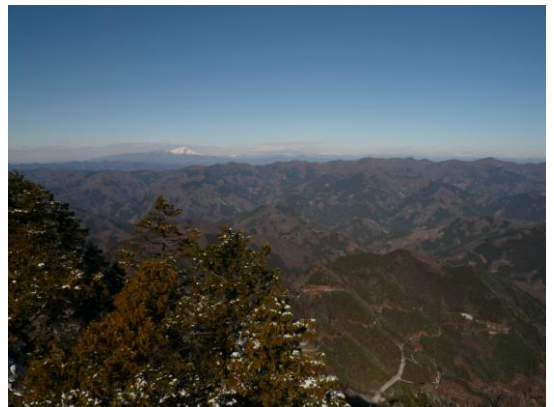
鎖場が連続する



北方の眺め

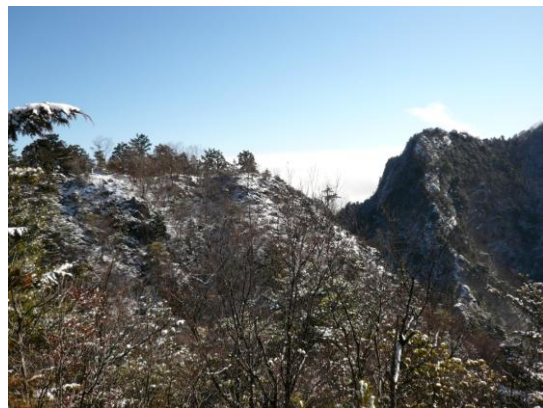


遠く上越国境の山並が見える





浅間山



東岳の登りは厳しそう



西岳山頂に到着。ここも眺めが素晴らしい。

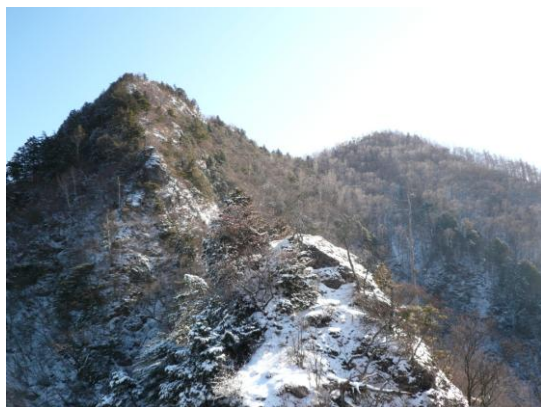
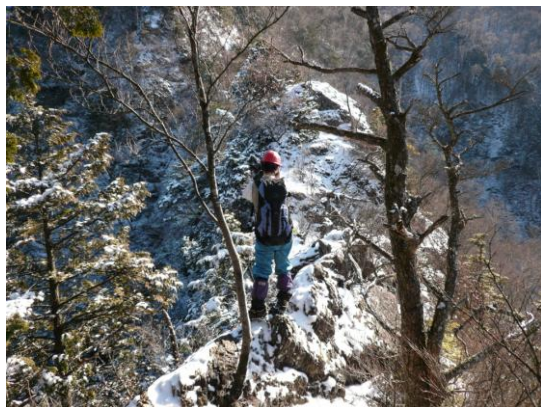


西岳で 30 分近く休んで出発。目の前に東岳の登りが迫る。連続する鎖場を楽しみながら通過していくと、竜頭神社の小さな祠があった。尾ノ内沢道の下降点となっているようで、吉筋先生のお話ではこの道は冬は大変厳しいようである。





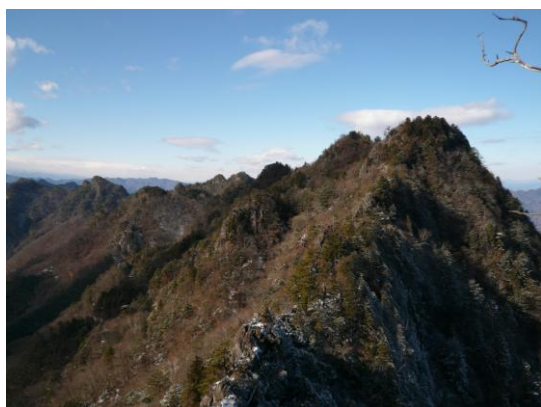
左手が切れ落ちている



東岳の登り



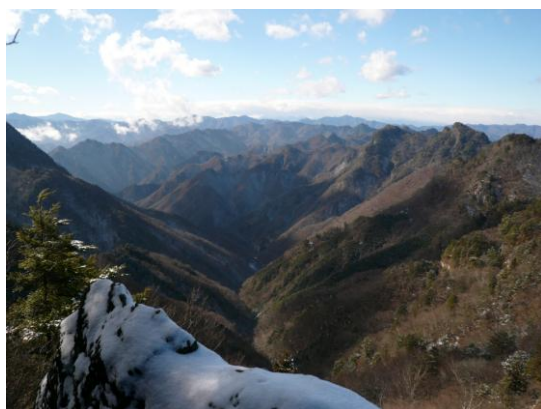
竜頭神社



後ろを振り返る

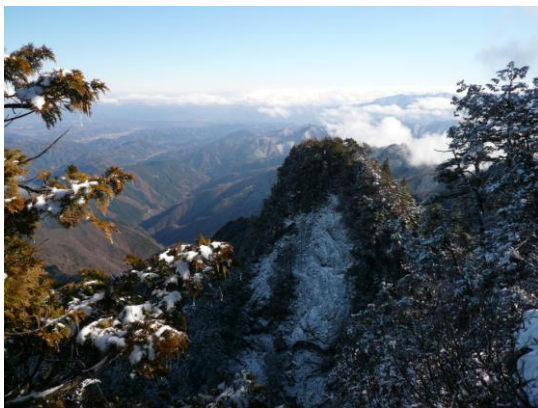
竜頭神社から鞍部を越え、東岳の登りとなるが、遠目に見た印象ほど険しくはなかった。

東岳の山頂に着くと、例の2人が休んでいた。彼らは元の道を引き返すと言う。私たちは時間が押していたので、展望を楽しみ、写真を撮ったらすぐに、目の前にすごい迫力で聳える大キギを目指して出発した。

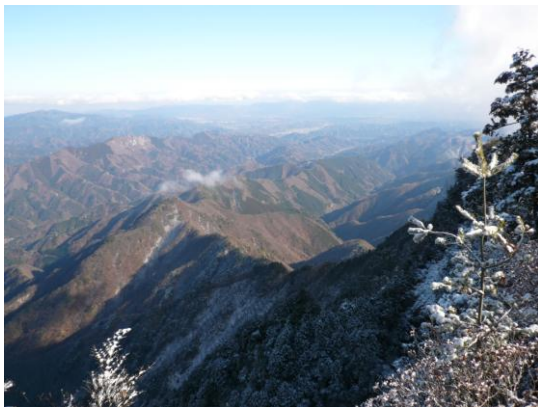




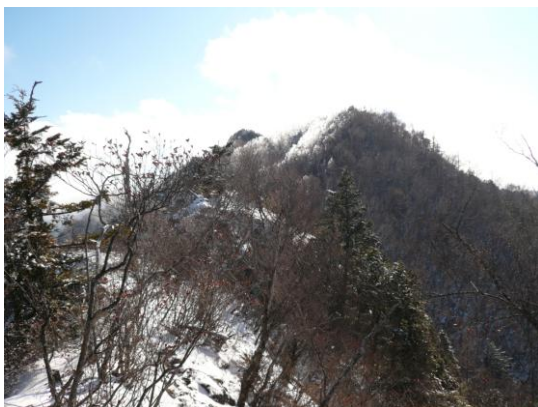
東岳の登り



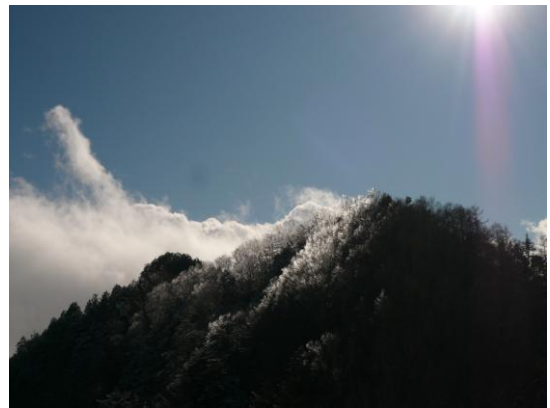
大キギと東の眺め



天理尾根



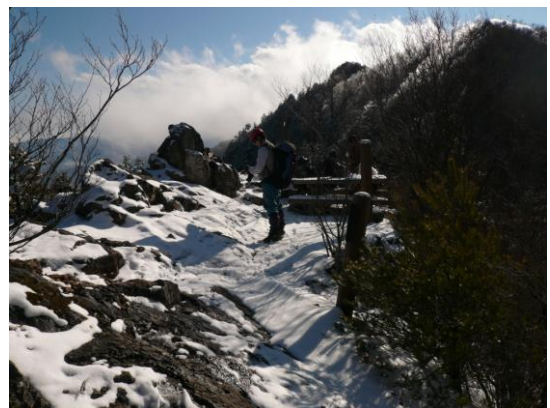
金山岳



金山岳山頂付近の霧氷



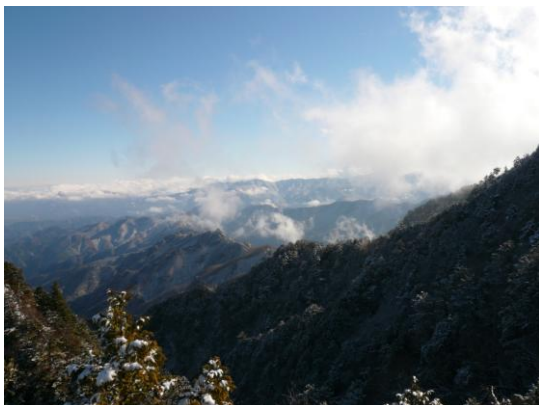
大迫力の大キギ



東岳山頂



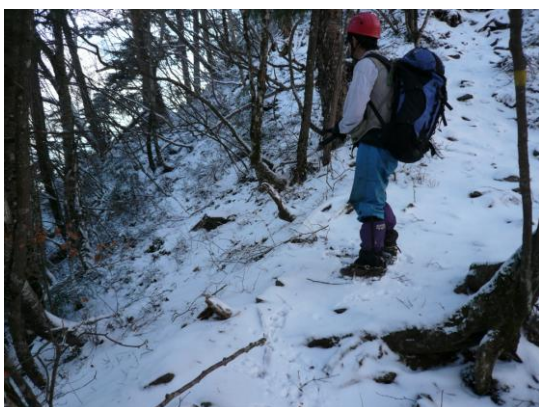
東岳山頂から東の眺め



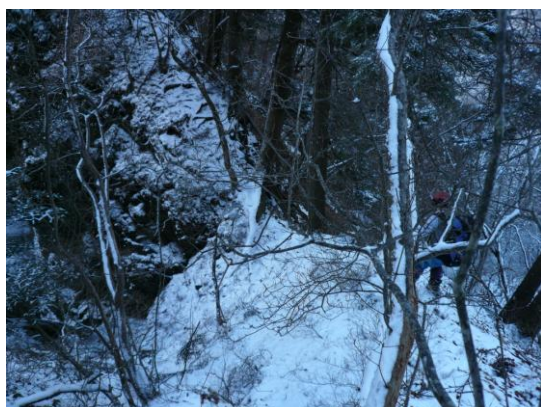
南東の眺め



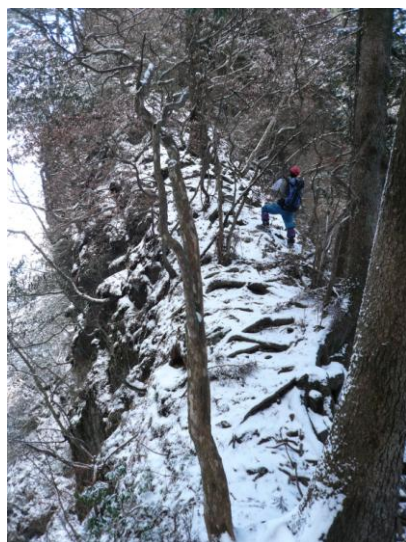
東岳から少し下り、鞍部（東岳南コル）に達する。ここから藪の斜面をトラバース気味に下り、大キギに向かう。軽い藪漕ぎが続くが、特に困難もなく大キギのピークに到着。東岳が目の前に屏風のように聳えていて、圧巻であった。



大キギへは、八丁尾根のこの地点から藪道を行く



藪のやせ尾根を渡る





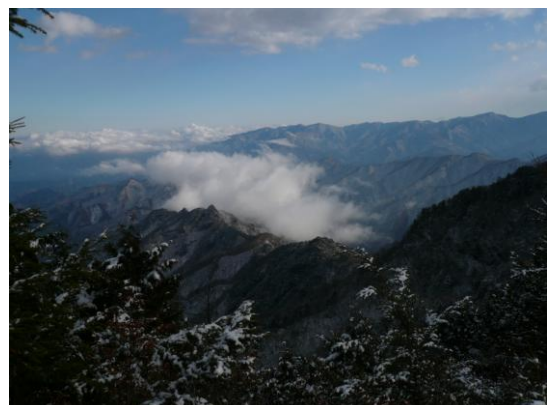
大キギのピークに到着



屏風のような東岳



藪道を引き返して八丁尾根に戻り、両神山最高地点の剣ヶ峰を目指す。このあたりから鎖場が減り、歩きやすい尾根道となるが、相変わらず雪は少ない。3時前によく剣ヶ峰に到着。人は誰もいなかった。



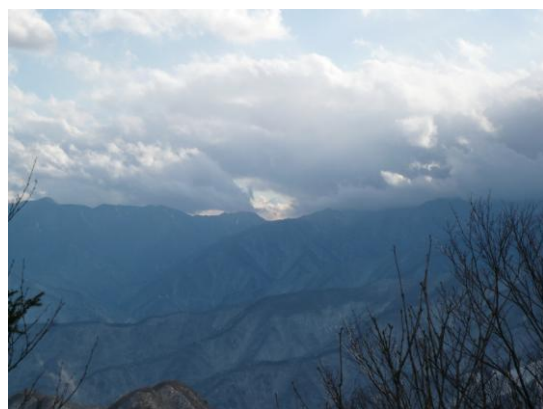


剣ヶ峰直下

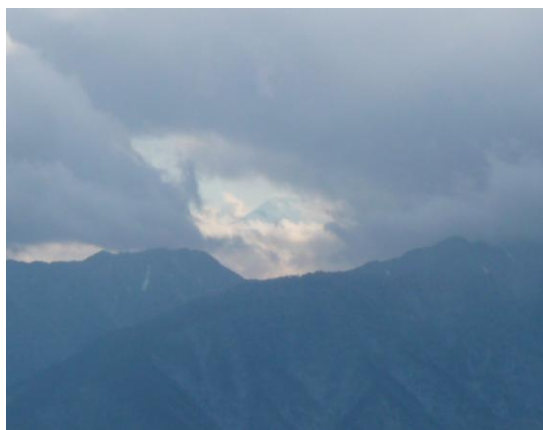


剣ヶ峰山頂

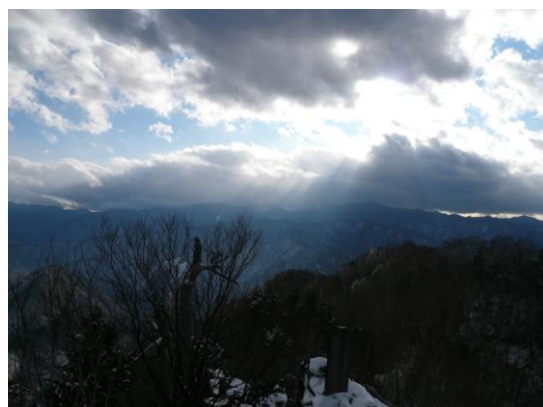
だいぶ雲が多くなったが、それでも山頂からの眺めはすばらしかった。雁峠の上に富士山が一瞬覗いたが、すぐに雲に隠れてしまった。



雁峠の上の雲が切れて、富士山が覗く（写真中央）

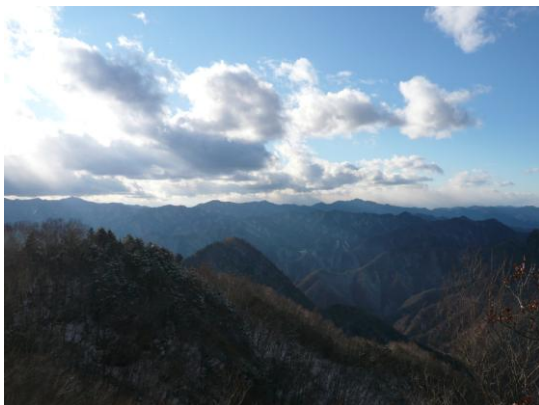


富士山（上の写真の中央を拡大）





東の眺め



西の眺め



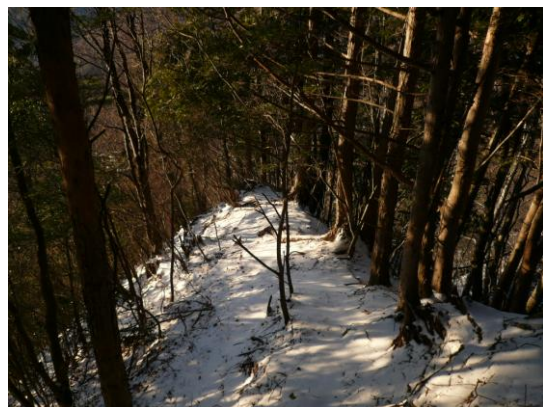
奥多摩。中央右は雲取山。



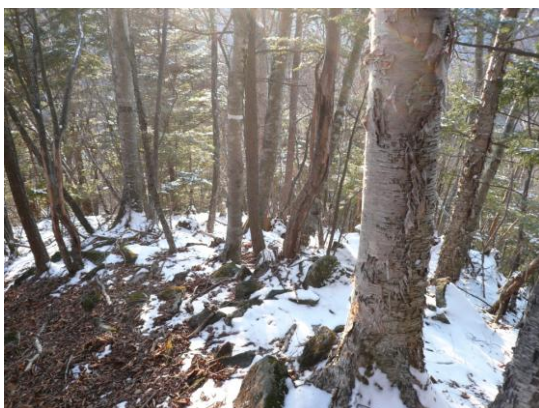
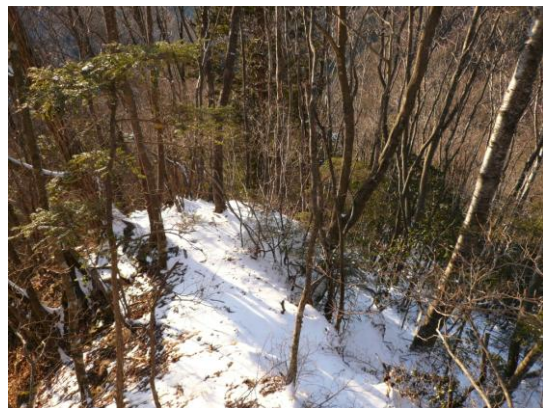
静かな山頂で 30 分ほど景色を楽しみ、出発。下山ルート of 西尾根の分岐となる金山岳まで来た道を引き返す。西尾根は藪道だが、テープが目印にたくさん巻かれている。急斜面を下り始めて少しするとなだらかになり、目的の尾根の一つ北側の尾根に間違えて入ってしまった。日が沈みかかって暗くなりかけていたので、少し焦ったが、すぐに気づき、冷静に地形を判断して正しいルートに戻った。

あとはわかりやすい尾根道を順調に下った。途中で真っ暗になり、ライトをつけて進み、5 時過ぎ、車を止めてあった上落合橋に無事到着。

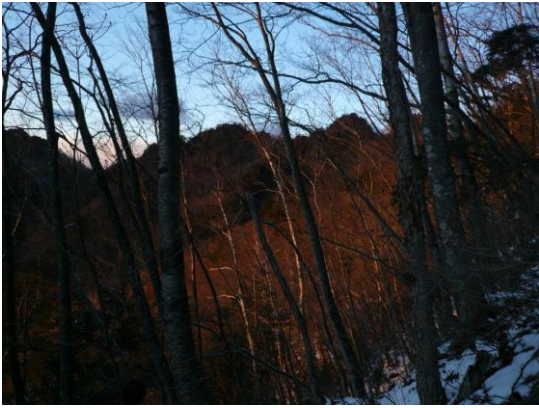
歩いた距離は短かったが、鎖場の連続する岩場の稜線歩き、すばらしい展望、藪道と、実に楽しくて充実した日帰り山行だった。



金山岳から西尾根の急斜面を下る



日が暮れかかる



真っ暗になってしまった



道を少し間違えたが、正しいルートに戻った



無事、上落合橋に戻った

